

# PRIDE

ISSUE

0

(28) WELFARE. WITH PRIDE.

福祉を、  
誇れる  
仕事に。

THIS IS  
OUR STORY.

FROM KASHINOKI  
CARE CENTER.

**KCC**

KASHINOKI  
CARE CENTER

かしの木ケアセンター

これは、  
現場の誇りを  
編集するための一冊です。

---

PRIDEは、KCCの現場にある誇りを  
見える化するための一冊です。

支援は、特別な瞬間だけで成り立つものではありません。

日々の声かけ、表情の変化への気づき、

迷いながら関わり続ける姿勢。

その積み重ねの中に、

私たちの仕事の価値があります。

福祉を、ちゃんと見える化する。

そして、福祉を誇れる仕事にしていく。

PRIDEは、ここから始まります。

# 現場には、 美学がある。

声をかける。

表情を見る。

変化に気づく。

迷いながら、関わり続ける。

その積み重ねの中に、

KCCの誇りがある。





“頼られる人になりたい。”

# 優しさは、 現場で磨かれる。

## アグイラル・ケインリュウ

かしの木ケアセンター 入所支援係 / KCCヘルス ディレクター

高校卒業後18歳で入職。現在5年目。生活支援全般と  
日中活動グループ『KCCヘルス』の運営を担う。



“ 人に対する優しさは、  
誰にも譲れない。 ”

18歳でKCCに入り、最初は戸惑いの連続だった。意思疎通が難しい方との関わりや、その人ごとの障がい特性にどう向き合うか。アグイラル・ケインリュウは、現場で初めて『コミュニケーションだけでは越えられない壁』があることを知った。

それでも続けてこられたのは、先輩の言葉があったからだ。不安だった新人時代に『ここでやっていけるよ』と言ってもらえたことが、自信につながった。

今は、KCCヘルスのディレクターとして、頼られる職員を目指している。後輩に頼られ、困っている職員の力になれる存在でありたい。その思いが、日々の責任感につながっている。

彼にとってのPRIDEは、人に対する優しさだ。誰に対しても親近感を持って接すること。利用者にとっても職員にとっても、話しかけやすい存在でいたいと語る。

これから挑戦したいのは、利用者をもっと外に連れ出すこと。一人ひとりの『行ってみたい』『やってみたい』を実現し、その瞬間に立ち会いたい。若い感性と責任感を携えながら、彼は現場の真ん中で次の一步を踏み出している。

# KCC NOW

福祉の見え方を、ここから変えていく。

支援だけでは、伝わらないものがある。

だからKCCは、日々の活動をひらき、表現し、つながりをつくる。

現場の価値を、施設の中だけで終わらせないために。



## — 01 / KCC GROUP

選ぶことから、暮らしは動き出す。

利用者が、その日の気分で活動を選べる。

KCC GROUPは、暮らしの中に自己決定を増やすための仕組みです。



## — 02 / KCC FES

福祉を、カルチャーにする。

アート、音楽、食、e-sportsが交わるKCC発のフェス。福祉を、地域にひらく一日。



## — 03 / MOVIE / SNS

日常を、見える化する。

映像とSNSで、KCCの日常と価値観を届ける。

見えにくい福祉を、ちゃんと見える形にしていく。



## — 04 / LOCAL

施設を、まちへ開く。

外出、地域交流、近隣とのつながりを通じて、福祉と暮らしの距離を近づけていく。

# 福祉っぽさを、 疑ってみる。

やさしさだけでは、語れない仕事がある。

福祉は、よく「やさしい仕事」と言われる。もちろん、それは間違っていない。けれど、現場に立っていると、それだけでは語りきれない瞬間がいくつもある。

声をかける。表情を見る。  
変化に気づく。距離を測る。  
迷いながら、関わり続ける。  
その一つひとつには、経験があり、  
判断があり、技術がある。

福祉を、閉じた世界にしない。  
福祉を、誰かに説明されるものだけに  
しない。私たちは、現場の空気を、  
表現し、発信し、社会とつなげていく。



編集者：川崎 祐司

アートも、フェスも、映像も、  
SNS も、ただ目立つためのものでは  
ない。見えにくい価値を、ちゃんと  
見える形にするための手段だ。

福祉は、もっと自由でいい。  
そして、もっと誇れる仕事でいい。  
PRIDEは、そのための  
一冊である。



# 福祉を、 誇れる カルチャーへ。

---

PRIDE ISSUE 0

Published by KCC / Kashinoki Care Center

WELFARE. WITH PRIDE.

PRIDE

ISSUE

0

